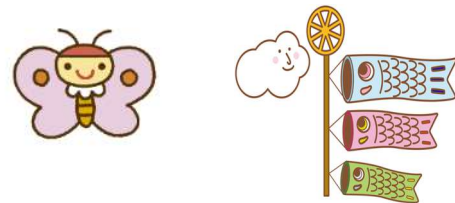


給食ひろば



偏食について考えよう

限られた食品しか食べない極度の偏食傾向が気になる子はよく見られます。これは決してわがままではなく、そこには、それぞれに食べない原因が存在しているのです。

偏食の原因を考え、合わせた対応をすることが大切です。決して急がず出来そうな事を目標にして体験を積み上げながら最終目標に近づく方法をとると、子どもに負担を感じさせることはありません。これを「**スモールステップ**」と呼びます。すぐに成果が出なくても根気よく進めてみて下さい。

4/14 お誕生会



4月誕生者のリクエストは
カエルさんケーキでした。
みんなお腹いっぱい食べ
ました。

ダンスも音楽に合わせて
上手に踊れました。



注目されて、ちょっとはずかしいな

テラスでお弁当



今日のおやつ



パズルクッキーで形をはめてみよう

嗜好調査の結果

平成 29 .3 月

好きな献立は、キリン組とうさぎ組は、圧倒的に麺類を好んでおり、おかわりも多いです。
汁物の好き嫌いは、90%以上は「好き」と答えていますが「嫌い」と答えている児が1名いました。
やはりその児は便秘傾向でした。味付けは洋風和風共に偏りはありませんでした。
調理方法は、煮物より揚げ物を好む児が多かったです。咀嚼については、ほとんどの児が月齢に合っていると答えていましたが、そしゃく回数が少ないと答えた児が1名いました。
好きなおやつは、例年同様ヨーグルトが1位で2位はケーキ、クッキーでした。
調査内容を参考に今後の給食に生かして参ります。

栄養士 竹中

 日本赤十字社 日赤岩手乳児院
Japanese Red Cross Society

〒020-0831
盛岡市三本柳 6-1-10
TEL019-614-0821

平成 29 年 春号

ピヨピヨだより

No.66

春!!

待ちに待った季節の到来！

春の日ざしがまぶしく輝いて、子どもたちに「外でいっぱい遊ぼう！」と誘いかけているようです。たくさんのわくわくとドキドキを胸いっぱいにつめ込んで、今年度も元気にスタートです。

一人ひとりの子どもたちの成長を支え、見守ることができる喜びとその責任の重さをかみしめながら、笑顔で過ごせるように職員みんなで応援しています。

ごあいさつ

院長 吉田 幸恵

日赤岩手乳児院は盛岡赤十字病院敷地内に新築移転し4年目となりました。自然に囲まれたこの地で様々な刺激を受けることで、子どもたちも伸びやかに明るく成長しています。

さて、児童相談所への相談対応件数は一貫して増え続けています。様々な事情や背景があるとは思いますが心が痛くなる思いです。今年度も地域との連携を強め、子どもたちの輝く笑顔のために、子どもの権利擁護をよりいっそう目指し、子どもの心身の成長の促進、また情緒的な安定を図れるよう職員一同努めていきたいと思っています。



カットボランティア

いつもありがとうございます！



お二人で、子どもたちの髪をいつもカッコよく！かわいらしく！切って下さるカットボランティアさんです。

子どもたちが安心して楽しく切ってもらえるようにアンパンマンの動画や絵も用意していただいています。

本当にありがとうございます。





りす・ひよこ

男児2名女児4名でスタートした、りす・ひよこ組。「みんな元気ですかあ？」の声掛けに「は〜い」と元気にお返事しています。さわやかな春の中、様々な発見をしながらトコトコ歩く姿を温かく見守り、頑張る姿を全力で応援していきたいと思っています。



うさぎ

今年度、うさぎ組は4人でのスタート！元気いっぱい歌って、踊って、走って、少し泣いてもたくさん笑って、毎日を楽しんでいます。食欲旺盛の明るく元気なうさぎ組をよろしくお願いします！！



キリン

日ざしの暖かさとともに「お外行きたーい!!」と元気いっぱいのキリン組。三輪車に乗ったり、公園ですべり台やブランコを楽しんだり…春の自然を感じながら、日に日に心も体も大きくなっています。



新任スタッフです

たしろ 英 保育士

子ども達と毎日楽しく過ごしています。
唯一の男性保育士として、皆さんと協力し合って頑張っていきたいと思います。



ささき いづみ 保育士

愛情いっぱい！元気いっぱい！子どもたちと過ごしていきたいです。

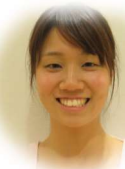
よしだ なつこ 保育士

子どもたちと早く仲良くなれるように元気いっぱい頑張ります。



さとう まい 調理員

おいしい食事、頑張って作ります!!



はやく子どもたちみんなと仲良くなって精一杯頑張ります！

きくち ゆりこ 保育士



平成29年度 事業計画

日赤岩手乳児院

1 入所児及び家庭のケアの充実

児童相談所及び関係機関との連携を密接にするとともに、家庭的養護による入所児ケアの充実と、家庭支援相談員や心理等による専門的機能の充実に努める。

- (1) 小規模グループケアの継続
- (2) 医師、心理士、家庭支援専門相談員、看護師、保育士等専門職員の配置
- (3) 被虐待児、病虚弱児等への専門的支援
- (4) 保護者等家庭支援、家庭早期復帰や里親委託、退所後アフターケア等の支援

2 運営基盤の強化

養育に不可欠な保育士等の人材確保に努めるほか、人材の能力向上・育成・定着化に取り組む。

- (1) 保育士の採用
- (2) 新人、中堅、上級等職員に対応した研修の実施
- (3) 新人、中堅職員へ相談、助言をおこなうスーパービジョン体制の強化

3 地域貢献の推進

- (1) 市町村から委託による子育て短期支援事業の実施
- (2) 一般市民も対象とした子育て相談や食育体験教室の実施
- (3) 就労体験や中高生の体験学習、里親研修の受け入れ
- (4) 地域の人々やボランティアを対象とした赤十字救急法の開催

4 ボランティアと職員による施設運営

日本赤十字社の運営は多くのボランティアの活動により支えられており、当院も既存のボランティア活動のさらなる活性化や新たなボランティアを確保するため、ホームページ等による積極的な広報活動に努める。

おまけショット



行事予定

5月 子どもの日プレゼント

赤十字フェスティバル

6月 遠足

※毎月、誕生会、避難訓練実施

